

高齢者施設 計38人死

神戸・門真 多数が療養中死亡

神戸市と大阪府門真市の高齢者施設で新型コロナウイルスのクラスター（感染者集団）が発生し、二つの施設で計38人の入所者が亡くなっていた。大阪府（兵庫県では病床逼迫が深刻化しており、両施設では、多くの入所者が入院先が決まらないまま療養を続けていたという。

神戸市は7日、市内の介護老人保健施設（4月16日時点で入所者133人、職員121人）で、入所者97人と職員36人の計133人が

が集団感染したと発表し、そのうち23人は施設内で療養を続けていた。記者会見で市幹部は「満床で入り、そのうち23人は施設内

で療養を続けていた」と述べた。入所者25人が亡くなったり、そのうち23人は施設内

で療養を続けていた。記者会見で市幹部は「満床で入り、そのうち23人が

が集団感染したと発表し

た。入所者25人が亡くな

り、そのうち23人は施設内

で療養を続けていた。記者

会見で市幹部は「満床で入り、そのうち23人が

が集団感染したと発表し

た。入所者25人が亡くな

り、そのうち23人が施設内

で療養を続けていた。記者

（大坂市）によると、この施設で

は4月14日に最初の感染が

判明し、18日には初めての

死者が出た。常勤の医師が

おり、酸素投与や投薬の治

療は受けていたという。市

幹部は「施設でできる限り

の治療はしていたと考えて

いる」と話した。ただ、施

設は認知症の利用者も受け

入れており、マスク着用が

不十分なまま多くの患者が

施設にどざまつたことで、

施設内感染が広がったとみ

られる。

大阪府門真市内の有料老

人ホーム（定員44人）では入

所者40人が感染し、60代

から90代の男女13人が死んで

いたことがわかった。その

うち8人は、入院先が決ま

らないまま亡くなっている

た。

門真市や大阪府の守口保

健所によると、4月11日に

入所者2人が発熱し、PCR

検査で感染が判明。その

後、職員と入所者の計約70

人を対象に検査をしたところ、26日までに入所者40人

と職員21人の感染が確認さ

れた。入所者のうち、最初

の死者は21日、入院先が決

まりずに施設で療養中のと

ころ容体が急変し搬送先の

病院で亡くなった。感染し

た入所者40人のうち、5月

6日までに入院できたのは

10人ほどとなっている。

大阪府介護老人保健施設協

会（大阪市）によると、こ

れまでも無症状の入所者が

がクラスターの発生につな

がつていたといふ。

府の方針では、軽症や無

状態でなければ、65歳以上

の感染者は原則入院とな

る。ただ、変異株に置き換

わったとする第4波では

感染者が連日1千人を超

ており、症状が悪化しても

入院先が見つかずに施設

内で亡くなるケースもある
という。木場康文事務局長
は「感染者を施設内に留め
置く状況が続けば、死者は
増え」と指摘している。
(鈴木春香、寺沢知海、濱沼
愛)